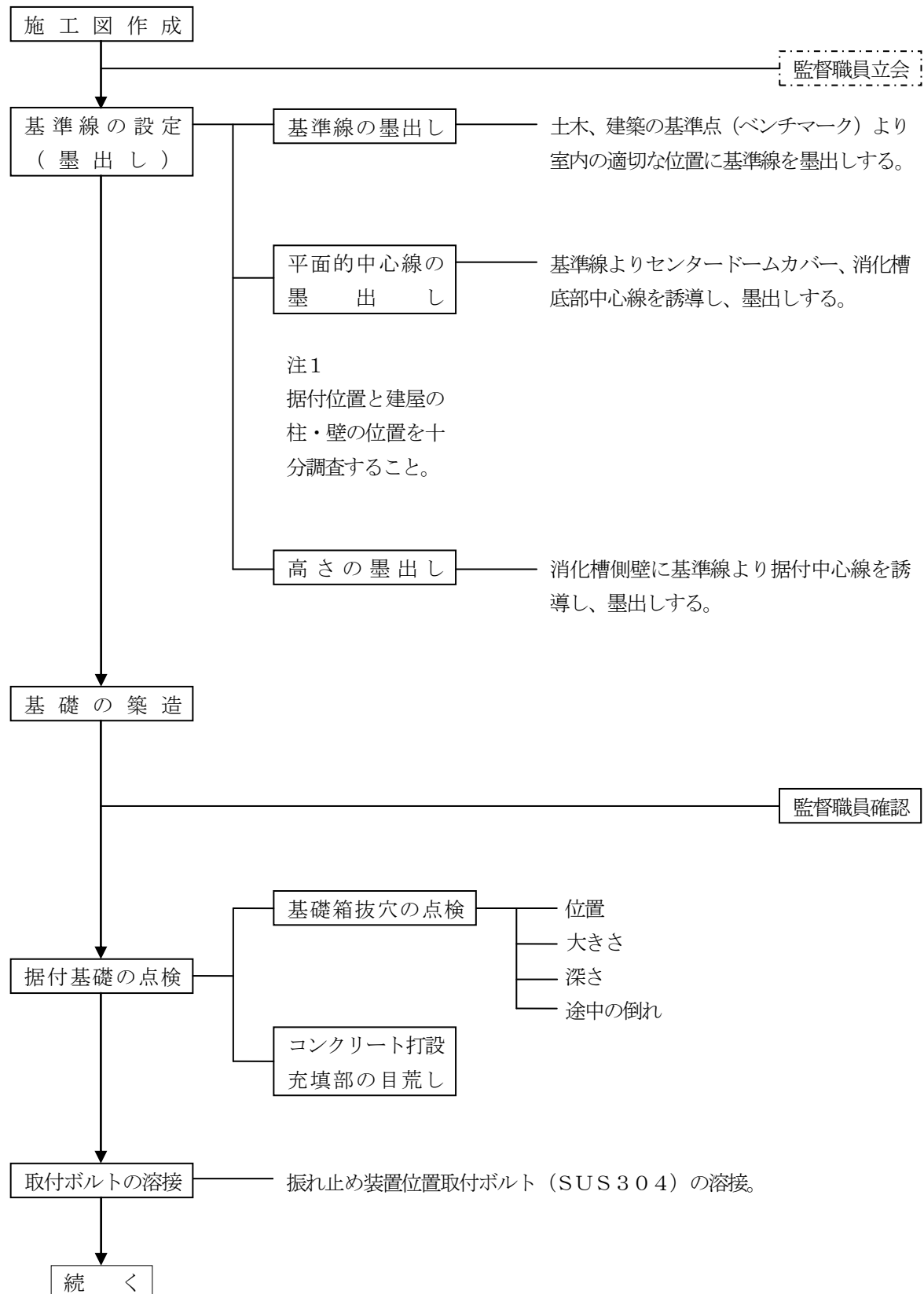


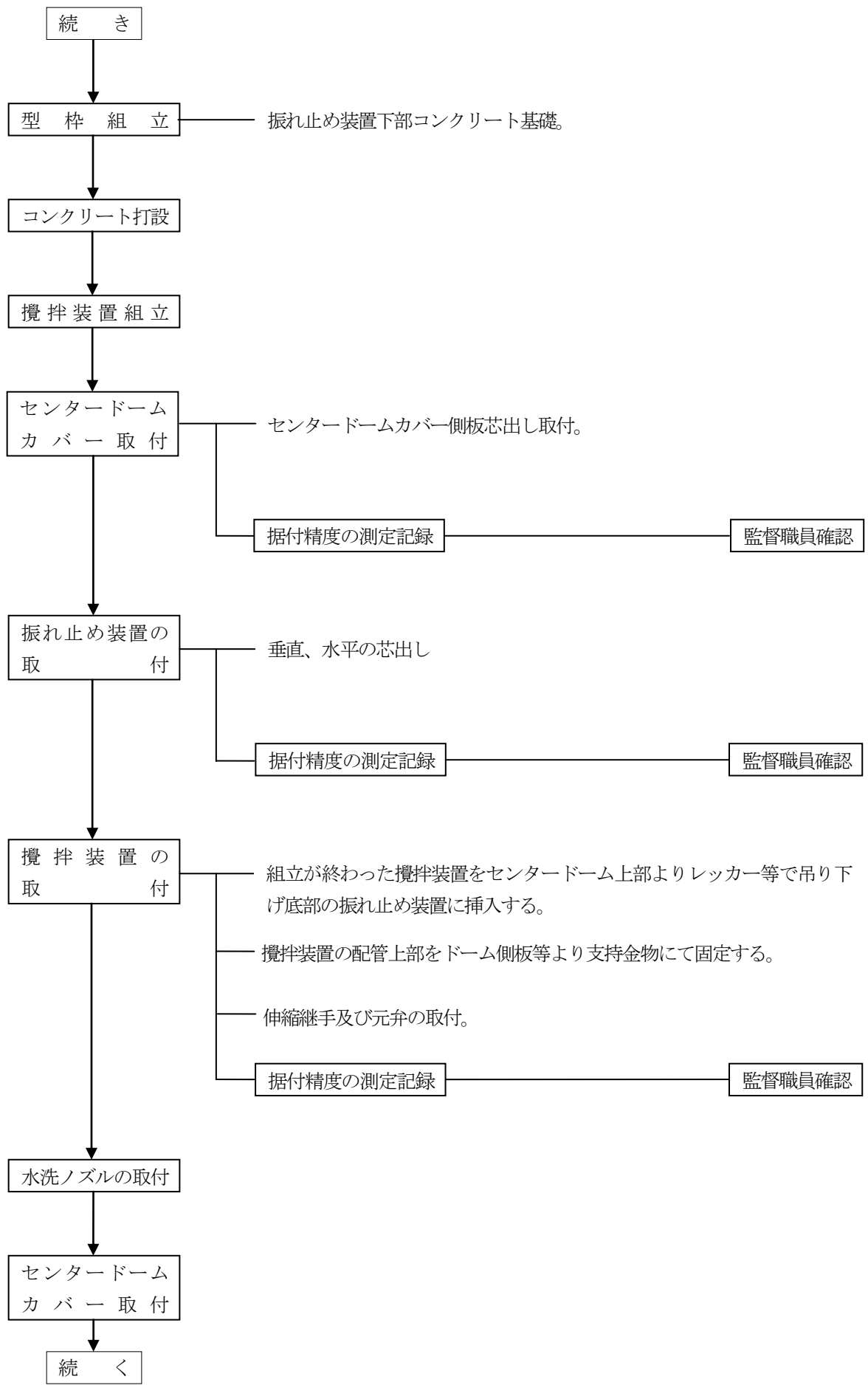
## 2. 12 消化槽設備

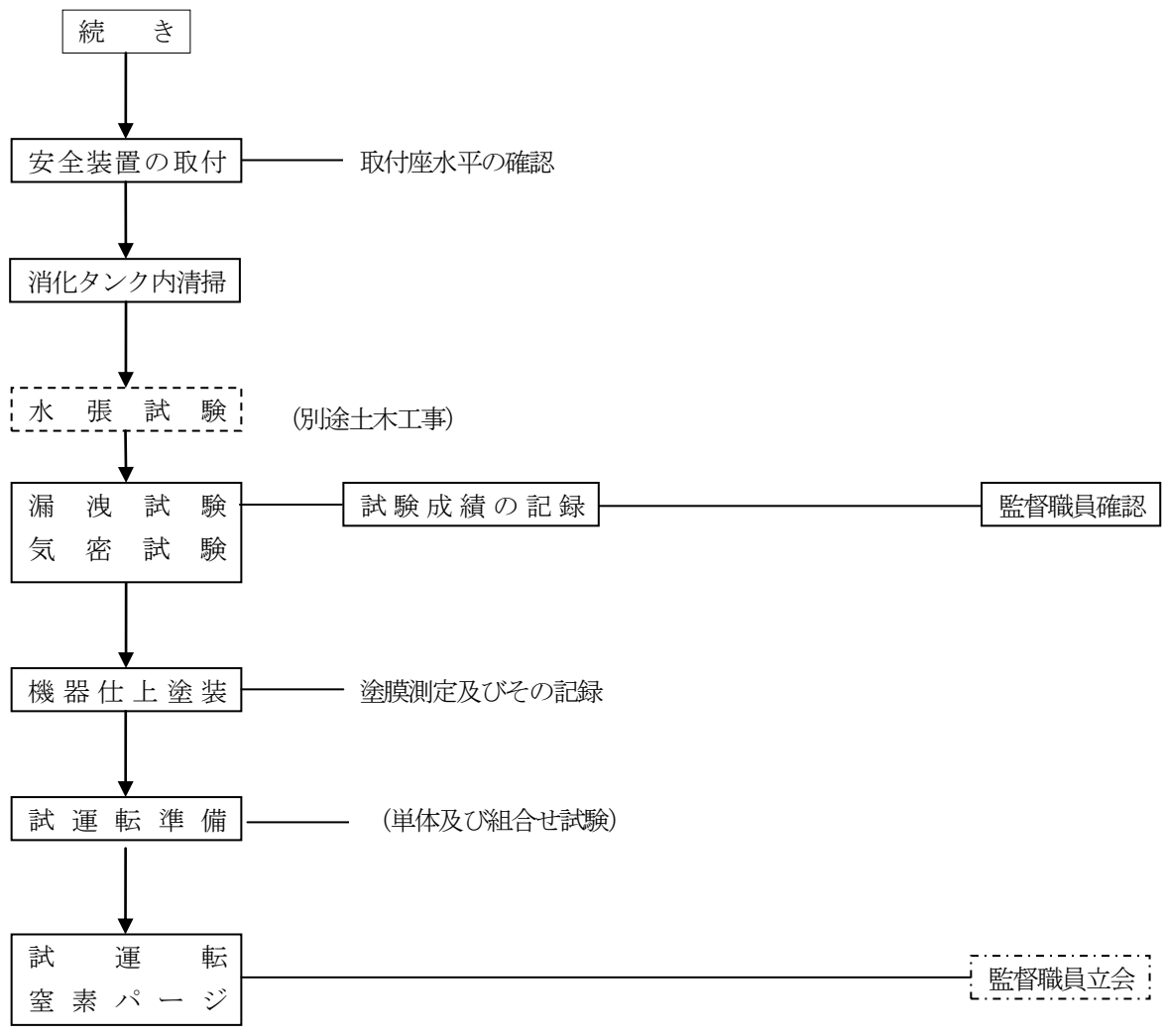
### (1) センタードーム設備

#### ① 据付手順

##### (ア) センタードーム設備据付フローチャート







② 墨出し及び測定の要領

測定項目	測定要領	測定か所図
<p>据付面の基準線及び基準点の確認</p>	<p>据付面の基準は、建屋内基準線より水平垂直各々2点スラブへ誘導し、副基準線及び副基準点の墨出しを行う。 (<math>L_1, L_2, L_3</math> は施工図による。)</p>	
<p>(注) (1) 複数台数ある場合には、相互の関連を充分考慮し、墨出しを行うこと。</p>		

③据付標準基礎図

設計条件・仕様	特記仕様	設計注意事項 (注記)	図面名称	センタードーム 据付標準基礎図
			図面番号	

④ 試験・試運転

種別	試験内容	判定方法及び基準	記録事項	判定	摘要
運転準備	据付検査	各機器の据付が交差内であるか。			
運転確認	漏洩試験	別途土木工事施工の漏洩試験実施時に立会、施工した部分に石鹼水を塗布し漏洩の有無を確認する。 試験圧 4.5kPa			

## 汚泥消化タンクの気密試験要領

### (目 的)

- 1 この要領は、汚泥消化タンクの気密試験を定めるものであり、汚泥消化タンクの安全性を確認することを目的とするものである。

### (事前試験)

- 2 事前試験を、次により行うものとする。

#### (1) 水張試験

汚泥消化タンクの規定(運転)水位まで水張りをを行い、コンクリートの吸水による水面低下の安定後、24時間の水面低下試験を行う。

24時間後の水面低下は、5mm程度以内で、漏水箇所の認められないものとする。

#### (2) 発泡液試験

水張試験に合格後、規定(運転)水位に調整し、気相部の開口部分を密閉にする。

汚泥消化タンクの内圧を4.5kPaに高め、発泡液を配管類の継手部、溶接部、コンクリート面及びコンクリート埋込管周囲等に塗布し、発泡が認められないものとする。

### (気密試験)

- 3 発泡試験に合格後、汚泥消化タンクの内圧をおよそ4.5kPaに再調整し、圧力の脈動停止後、4時間の圧力変動を測定する。

補正後の圧力変動は、検査基準の範囲内にあるものとする。

### (発泡液試験及び気密試験の注意事項)

- 4 発泡液試験及び気密試験を実施するにあたり、次の事項に注意すること。

(1) 試験時に空気が満たされる配管類は、バルブでの完全気密は難しいので、弁の二次側にフランジ蓋又は挿しフランジをする。

(2) 測定は大気圧、大気温の変動ができるだけ少ない時間帯に行い、1時間ごとにデータを採取する。

(3) 汚泥消化タンク内の圧力測定は、センタードーム上で、マンオメータで行う。

(4) 汚泥消化タンク内の気温は、水面上およそ500mmの位置を測定する。(試料採取口)

(5) 測定状況は、写真に記録する。(時刻と計測値がわかるようにする)

### (気密試験の検査基準)

- 5 検査基準は、次式で補正した4時間内の圧力変動差が±10%以内とする。

$$H_0 = \frac{273+T_0}{273+T} (P+H) - P_0$$

$H_0$  : 補正後の汚泥消化タンクゲージ圧力 (Pa)

$P_0$  : 測定開始時の大気圧 (Pa)

$T_0$  : " の汚泥消化タンク内温度 (°C)

$H$  : 任意時の汚泥消化タンクゲージ圧力 (Pa)

$P$  : " の大気圧 (Pa)

$T$  : " の汚泥消化タンク内温度 (°C)

### (試験区分)

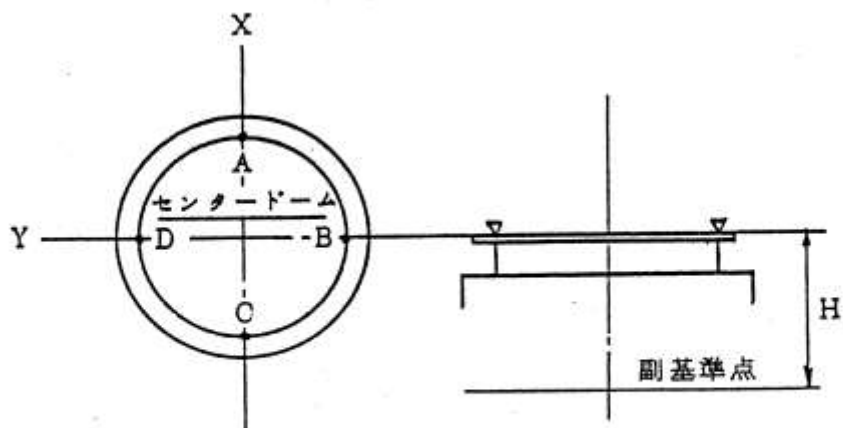
- 6 試験の区分は、土木工事においては全部の試験を行うものとし、設備工事では発泡液試験及び気密試験を行うものとする。

⑤ 施工記録

施工管理記録

センタードーム高低差記録表

工事名称			
施工場所		測定年月日	
機器名称		測定者	
機番(No)		立会者	



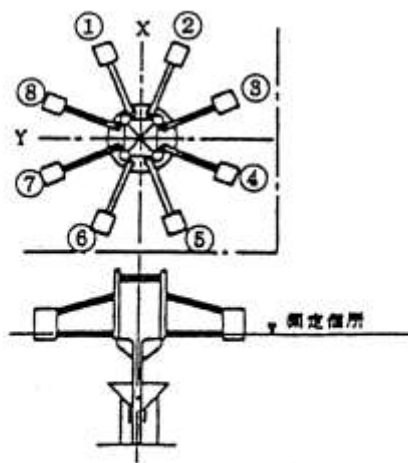
No 消化タンクセンタードーム装置

測定箇所	図面寸法	測定値	誤差	許容差
A				± mm
B				
C				
D				



攪拌装置ガス吹出部水平度測定表

工事名称			
施工場所		測定年月日	
機器名称		測定者	
機番 (No)		立会者	



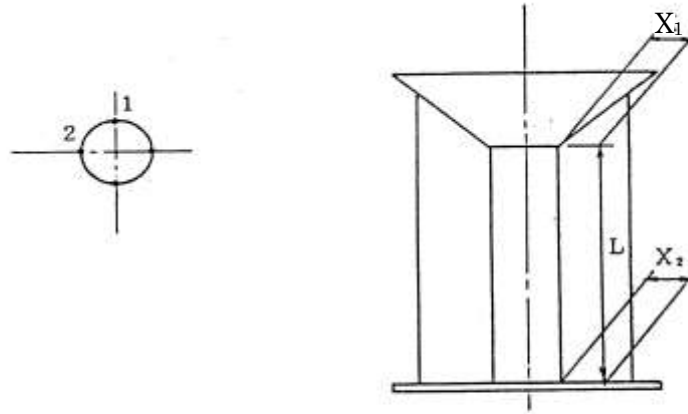
No 消化タンクガス吹出部

測定箇所	図面寸法	測定値	誤差	許容差
1				± mm
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

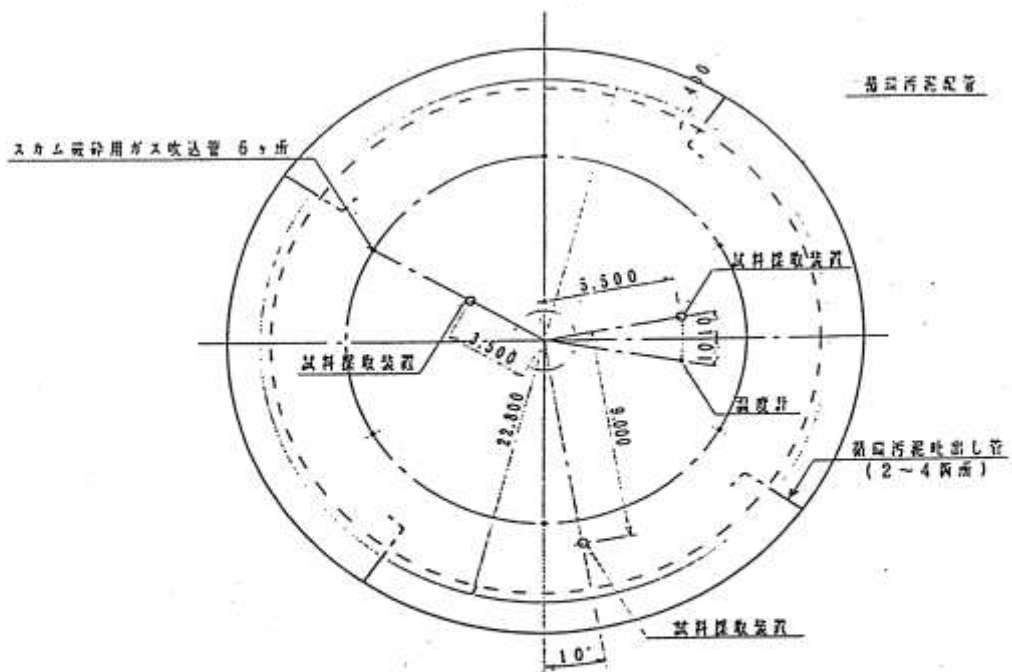
施工管理記録

振れ止め装置垂直度測定表

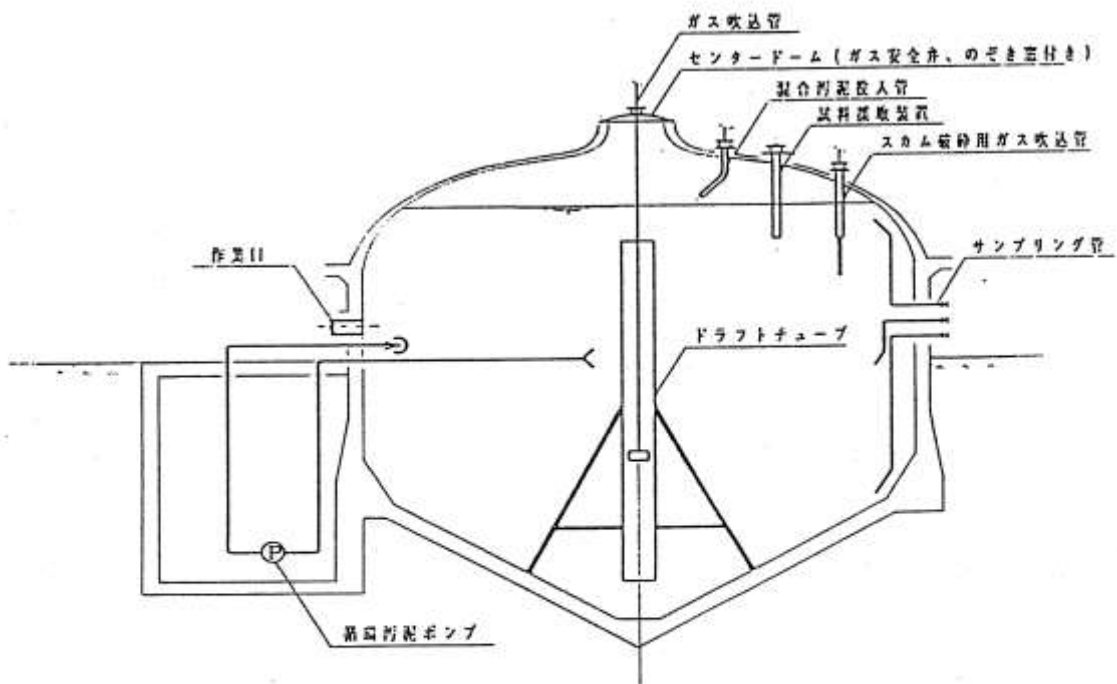
工事名称			
施工場所		測定年月日	
機器名称		測定者	
機番 (No)		立会者	



測定箇所	測定値			$ X_1 - X_2 $	許容値
	$X_1$	$X_2$	L	L	
1					/ 以内
2					/ 以内



消化槽上部平面図 (5.000 m<sup>2</sup>)



消化槽断面図 (5.000 m<sup>2</sup>)

### センタードーム設備